

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	290100015		
法人名	株式会社 荒内工務店		
事業所名	グループホームみずばしょう苑		
所在地 (電話番号)	〒030-0921 青森県青森市原別5丁目7番2号 (電話) 017-736-7250		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 2月 16日	評価確定日	平成 20年 4月 11日

【情報提供票より】(平成 20年 1月 28日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 18年 5月 17日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 15人, 非常勤 人, 常勤換算 15人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	22,500 ~ 冬期24,500 円
敷金	有( 円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 円
	または1日当たり 200 円		

### (4) 利用者の概要( 1月 28日現在)

利用者人数	16 名	男性 4 名	女性 12 名
要介護1	4 名	要介護2	5 名
要介護3	3 名	要介護4	4 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢 平均	86.25 歳	最低 75 歳	最高 99 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	浪打病院、おさないクリニック、とき歯科
---------	---------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>住宅街の一角で公園や神社も隣接しており、地域の中にとけ込んでいる感じを受けた。各所の装飾も個性を活かしてあり、施設内も明るく環境的にも過ごしやすい。基本理念を基にテーマを掲げて支援に取り組む姿があり、利用者への接し方も優しくさりげなく行われていて、静かに時が流れているように感じた。</p>
--

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>玄関への表示も矢印等で分かりやすく改善されていた。緊急時対応マニュアルも作成され、地域住民への働きかけもされている。契約書については変更し、差し替え中である。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全員で取り組み、ユニットごとに改善点を検討して日々の支援ができているが、両ユニットで共有できる内容もあるため、今後の取り組みに期待したい。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>地域の人との対話の場という意識で、利用者や家族にも参加していただき向上に向けて取り組んでいる。また、市町村とも問題解決に向けてその都度連絡をとり情報交換を行っている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>面会時や電話などで状態報告ができています。相談や意見を反映する体制を設けている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>近隣への外出や散歩・婦人会等の外部からの来訪もあり、交流は図られているが、認知症に対する偏見の言葉も聞かれる現状である。行事等を利用して今後も理解を深められることに期待したい。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	『「ひとりひとり」を大切にします。「家庭的」な生活環境を提供します。「ご家族」との信頼関係の維持に努めます。「医療機関」と連携します。「地域との交流」を図ります。』の、五つの基本理念を職員皆で考え掲げて援助に取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	常に目に付くところへ掲示し共有、振り返りのきっかけにしながら取り組んでいる。さらに西棟では毎年テーマを掲げ今年『絆』と決め、職員が一丸となって日々の介護にあたっている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	公園や稲荷神社が隣接しており、地域の行事へ利用者が参加したりゲートボールの見学に行ったりと交流が図られている。		地域への認知症についての普及は今後も交流を深めながら、十分な理解を得られるようにさらなる取り組みに期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	2つの棟でそれぞれに職員間で振り返りをし、問題意識を持って改善策を検討し、取り組む姿勢がある。振り返りのなかで両方の棟が理念に向かって共に取り組んでいけるものもあるが、うまく活かされていないところがある。		2つの棟の足並みを揃え、理念の実現に向けての取り組みに期待したい。
5	6	運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の人との対話の場という意識で会議を開催しており、利用者や家族へも参加してもらうなどして向上に向け取り組んでいる。		
6	7	市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	問題解決に向けその都度連絡をしたり、運営推進会議で利用者や家族の意見を直接聞いていただき情報交換を行ったりしている。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	実際に対象になる人もあり勉強会で学び情報を共有し支援できている。成年後見人の利用者もあり弁護士が定期的に来園しているので今後職員へ浸透させる意向がある。		
8	9	虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	拘束が身体面だけではないことなど、勉強会で学び虐待防止に努めている。交替で外部研修に参加することで、職員も日々意識しながら支援できている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>主に管理者が行い、前回の行政監査で指摘があった契約書については変更となり、差し替え中である。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会の都度、又は電話で報告できている。状態の変化に応じてカンファレンスした場合も説明し、本人や家族の希望を聞き支援できている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>相談や意見があった時の態勢を説明しており、運営に反映できるような姿勢ができている。また、他機関へも相談できる旨を説明している。</p>		<p>今までに苦情等はないが、話しにくいこともあるため、施設長、管理者は家族や職員の意見や要望に耳を傾ける、質の向上に繋げる事を期待したい。</p>
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動はまだないが、日常的に2つのユニットを利用者が自由に行き来できるようにしているため、職員と顔なじみの関係ができるよう努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修へは交替で参加させたり、カンファレンス時に勉強会を行う等の取り組みがある。それぞれの棟で単独で行っている研修や勉強会が多く、重複した内容の勉強会もある。		2棟合同での研修会の企画等、より効率的、効果的に職員の育成が進められるよう期待したい。
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホームと連携し、事例検討会や相互のグループホームを訪問し評価を実施するなど質の向上に努めている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族や携わっていたケアマネージャーなどと相談、調整しながら入所に繋げている。また、自宅で使用していた家具などを持ってきていただき、より早く安心して過ごせる空間作りに努めている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の思いを尊重し、生活の中で自分の役割を果たせるような働きかけをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人の意向も日常生活の中から情報を得、また面会時に報告・相談・説明し、思いや意向の把握に努めている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>計画作成時は家族・本人の要望を踏まえ、ケースカンファレンスを行い作成できている。</p>		<p>計画作成後、職員へ介護計画を口頭のみで伝達している場合があり、職員が何に向かってケアをしているのか不安に思う要素となっている。口頭のみでなくいつでも確認できるようにするなど、職員間の情報の共有方法について今後の検討に期待したい。</p>
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>面会時に家族から聞き取りをして意向を確認しているが、家族を交えてのカンファレンスの機会が少ない。職員で共有し変化ある時は会議の中で話し合いをし、管理者によって見直しされ介護にあたっている。</p>		<p>今後、家族と共に課題について話し合う機会が増えることが期待される。</p>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人・家族の状況に応じて通院や送迎等の必要な支援を柔軟に実施している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医を利用するほか、施設との協力医を家族や本人へ説明し、適切な医療が受けられるよう努めている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合も事業所で対応可能な範囲をあらかじめ説明し、かかりつけ医等と連携し対応できている。ターミナルケアについては一度研修したが家族の意思確認はまだ行われておらず、今後取り組んでいく意向がある。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録物は事務室内で保管・管理されている。利用者への声掛けも人権を損なわないよう対応できている。間違った対応をしているときがあれば、職員同士や管理者から注意を促し改善に努められている。電話対応についても関係を確認し不必要な情報は流さないよう徹底できている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のペースに合わせ、時間がかかることでもその動作を見守りながら支援できている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事形態を職員で把握し、管理日誌で個々を評価しながら接しており、外食の機会も多く利用者に楽しんでもらっている。誕生日には、その人の希望のメニューにする等の工夫がされている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>好きな時間に入れるような体制がある。一人入浴の希望者へも付きっきりではなく、しっかり見守りをして事故のないように考慮しながら支援できている。また、乾皮症軽減を考え、タオル地で作った袋の中にスポンジを入れ泡立ちをよくしたり、重曹入りにしたりと工夫がされている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>利用者が自発的に役割を考えて動く場面もあり、さりげなく一緒に掃除したり食事の準備や片付けするなど生活歴を活かしながら支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>近くの公園へゲートボール見学やねぶた運行見学、日光浴・スイカ割りなどの屋外活動も楽しみながら行えている。施設敷地内の畑での種まきから収穫、プランターでの花作り等その人に合わせて支援している。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>意識しないでの拘束(言葉や薬による行動制限)も学び、職員で周知徹底しケアができています。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関にはセコムの感知器、死角の所へは天井からミラーが付けてあり、利用者が気にすることなく行動を確認している。</p>		<p>利用者からの不満や混乱は無いが、外部から入った場合にはミラーについては違和感を感じるのので、事前に説明するなどしてはどうでしょうか。</p>
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>利用者と共に訓練を行い、推進会議等を活用して地域へのお願いもされている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立は職員同士で考え、折り込みチラシを利用者と共に見て購入するなどして作っている。摂取量もチェックしており日々支援できている。現在は宅配業者をお試し利用中でメニューと食材が配達されると各棟でアレンジして調理したりと楽しみの一つになっている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルが作成されており、手洗い・うがいも励行し職員へも周知徹底できている。インフルエンザについても入居者・家族の了解を得て予防接種したり予防に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>壁紙は落ち着いた色で、施設内の照明はまぶしすぎず、窓も多く明るくなっている。木製品の家具等も置かれ、家庭的で好感が持てるような工夫がされている。玄関先も各棟で、それぞれに季節に合わせた装飾がされていて、とても感じが良い。利用者の行き来も自由にできるようになっている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>個々に合わせた配置であり、持ち込んだ物も活用し入居時には家族へも関わってもらい部屋作りするなど工夫されている。利用者からの希望で表札を手作りし、取り付けているところもある。</p>		

 は、重点項目。